



# 会報 むすび

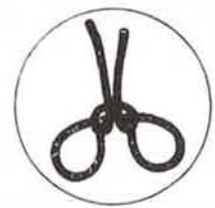
第 19 号

〈発行所〉  
栃木県青年神職むすび会  
会報編集委員会

〈発行人〉  
柳田文司

〈印刷所〉  
有限会社岸印刷

## 混沌たる世の中に ひとすじの光



### 目次

*****	会長挨拶	2
*****	阪神淡路大震災	3
*****	平成六年度むすび会事業報告	5
*****	会員神社紹介 「大田原神社」	6
*****	「安住神社」	7
*****	平成六年度 むすび会役員・幹事・各種委員会委員	8
*****	初穂曳参加記	9
*****	「第一回神社の森の集い」に参加して	10
*****	むすびの声	12
*****	新入会員紹介・定年退会者	17
*****	ご誕生・ご結婚・編集後記	18



# 「ご挨拶」

栃木県青年神職むすび会

会長 柳田文司

去る平成五年三月二十三日開催の臨時総会に於きまして、上野前会長の後を継ぎ会員皆様のご推挙を戴き会長に就任させていただきました。ましてより、早いもので二年の歳月が過ぎようとしています。

この間、神宮式年遷宮、皇太子殿下ご成婚と慶事を中心に会の運営を行ってきました。中でも印象深い事は、前会長の時、当会創立三十周年を記念して神宮大麻増体啓蒙活動で製作したビデオ「神棚のまつり方」や書籍「栃木の神社めぐり」は好評であり、引続き増版販売致した次第であり、殊にビデオでは神青協定例総会に於いて特別表彰を受けた経緯があります。又、相次ぐ天災で最も悲惨で記憶

に新しい阪神大震災に於きましては五千有余名の尊い方々が被災でお亡くなりになられ、約二十万人の方々が犠牲に遇われ衷心よりご冥福を祈るばかりです。

神青協では役員並びに各単位会の会長が委員になり、神青協阪神大震災対策本部会を設置し、先般（三月七、八日両日）被災神社の要請を受け、第一回の支援活動を行い当会も参加させていただきました。今後とも神社復興の為第二回、第三回と支援活動が行われる予定であり、県内神社でもむすび会の活躍が期待されています。

十八年間を顧みますと、昭和五十二年に入会当時は黒川会長であり、そして阿部会長、中磨会長、

柳田（耕太）会長、若松会長、上野会長とすばらしい会長様の下、創立二十周年、二十五周年、三十周年、又神青協中央研修会（於鬼怒川）、神青協一都七県関東地区総会（於那須）と経験し、幹事四期、議長、副会長各一期を経て会長となり、諸先輩方並びに会員、神青協の方々の温かいご指導、ご支援により今回無事会長の任期を終え退会を迎えますが、むすび会と共に歩んできた十八年であり、私にとって貴重な経験でありました。今後はこの経験を生かし神社界に貢献していきたいと存じます。本当に有難うございました。

最後に、むすび会々員の益々のご活躍をお祈り申し上げまして感謝の挨拶と致します。

社頭授与品専門奉製所  
(主要奉製品意匠権所有に付、侵害厳禁)

## 常陸神宝(株)

〒310 水戸市根本町1丁目53-4  
☎ (水戸)029(227)5111(代)  
FAX (水戸)029(227)0512

御装束、祭典用具、結婚式<sup>押</sup>準備、  
舞楽装束の御用命は

宮内庁・栃木県神社庁御用達

### 森 装 束 店

〒160 東京都新宿区西新宿4丁目7番21号  
電話 東京 (03) 3376-4631番

# 阪神淡路大震災後興支援隊に

## 参加して

日光二荒山神社 矢木 公久



あの悲惨な阪神大震災に対して何が出来るか？外国からの援助でさえ震災直後より活躍しているのに、国内に居ながら義援金を送る事しか出来ないもどかしさがあった。特に神戸方面に友人・知人を多く持つ私は、支援隊に参加出来る事自体有難い。むすび会幹事の方々に作業用のマスク、軍手等準備をしていただき三月七日早朝、尼崎市の松島神社に入った。街自体は報道で見える程ではない。しかし、宮司様の挨拶も半壊の御社殿の前で寂しげだ。この状況の中で必要な事は行動だけであろう。幸い山梨県よりダンブカー、エンボ

ー等の準備があり、会長の御被いの後、まさに解体作業が始まった。埼玉、山梨、群馬、栃木、総勢四十名以上、人手は充分だ。真新しい一輪車がかなりある。大阪府神社庁から支給されたらしい。各県ごとに適確な指示・役割分担のもと、瓦、壁土、木材の順に撤去していった。廃材を投棄する場所が指定されており、ダンブカー約十荷分の量であった。現場からすぐ近くに本務社があったが、拝殿は全壊、本殿は約一メートル沈下という状況で、尼崎は江戸時代の埋め立て地という事も聞き、液状化現象の恐ろしさをまざまざと見せられた。

二日目は西宮市である。こちらの方が酷い事は、一般住宅の損壊状況を見ればわかる。細い路地を入った所に鳥居が無事だったので神社だという事はわかるが、本殿、拝殿は無残にも自分の目線以下の低さに潰れている。二日目ともなると隊員が作業手順を把握している為順調である。廃材は二トンダンプだけでは覚えず、四トン車が二台手配された。御本殿の瓦礫の下から狛犬等を慎重に取り出しながら進めていった。何か一つでも無事に取り出す事が出来る度、宮



## 京都奉製株式会社

京都営業所 〒602 京都市上京区智恵光院通中立立下ル山里町236-1  
TEL (075) 432-5500  
FAX (075) 432-5600

東京営業所 〒113 東京都文京区本郷3-41-9 ウォトミビル3F  
TEL (03) 3818-1461

広島営業所 〒733 広島市西区横川町1丁目7-7 ノバルミー横川103号  
TEL (082) 232-6845  
FAX (082) 232-5720

本社 〒601-11 京都市左京区静海市原町1291-25  
TEL (075) 741-3221

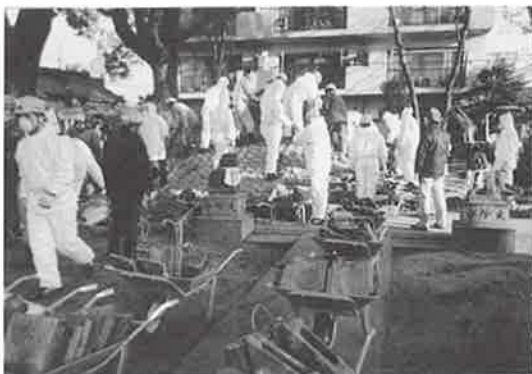
## お守り製造販売

## 株式会社 ユーカワベ

〒607 京都市山科区西野山射庭ノ上町27-1A  
TEL (075) 501-1411  
FAX (075) 501-4480

東京店 〒113 東京都文京区向丘1-7-17-102  
TEL (03) 3811-9091  
FAX (03) 3811-9376

同様、総代様は、これだけでも出て来て本当に良かったと励まし合っていた。



休憩時に地元の方から話を聞いた。裏の独身寮が全壊して女性二人が亡くなられたと言う。向かいの民家は壁が全て剝がれて中か丸見えである。手前の部屋を覗いてみると小さなアルバムがあった。笑顔の老人がどこかの旅行先であろう所で写っていた。瓦礫の中の生活の匂いは本当に痛々しい。無事に撤去作業が終了した時、宮司様は、更地になった境内を前に、「逆に清々しい気持ちです。氏子

さんと零からまた始めます」と力強く語られた。行政の対応はやはり一般住宅を第一に考える為、神社には何も手を付けていない状態であったし、街（氏子区域）が復活しないと神社のそれも難しいと思う。これから大きな壁をいくつもクリアしていかなければならない神戸の人々、未だ避難生活を強いられている人々、同じ日本で起きている事実である。瓦礫の山を見た時、言葉よりも活動だと思いが、会員の協力のもと奉仕してきたが、やはり最後は宮司様に、被災された人々の代表という意味でも「頑張ってください」と、ありきたりだが会員一同お声掛けせずには居られませんでした。

**阪神淡路大震災**

平成七年一月十七日午前五時四十六分頃、近畿地方を中心とした大地震が発生した。震源地と見られる淡路島の州本や神戸で震度七と、観測史上初の大規模なものとなった。

この地震では、神戸市内各所で火災が発生し、高速道路が崩落、住宅やビルが倒壊し、五千人以上の死傷者が出て、「大都市直下型」の感りを痛感し、地震で都市機能

がマヒ状態となった。

神社関係でも、淡路島の各神社、神戸、西宮市内の神社では社殿、社務所など全、半壊するなど悲惨な状態となり、被害が判明するに従ってその大きさは深刻なものとなった。

二月一日現在で把握している阪神大震災の罹災状況は、兵庫県で百六十二社、大阪府で百二十六社、京都府で八十四社、奈良県で二社、和歌山県で十二社、岡山県、徳島県で各一社、香川県で四社の合計三百九十二社となっている。

（「神社新報」より）



誠実と真心で奉仕する

御守・授与品・参拝記念奉製

御一報次第カタログ御送り致します。

**グリーン産商株式会社**

代表取締役 柚木 忠

〒547 大阪市平野区平野西4丁目8番29号  
電話 大阪 (06) 702-6009番(代)  
FAX 大阪 (06) 797-5896番

絵馬・御札・神社授与品専門店



株式会社 **晃栄商会**

代表取締役 小杉 高士

〒321-14 栃木県日光市所野1388番地  
電話0288(53)4186 FAX0288(53)4488

# 平成6年度むすび会事業報告

自 平成6年4月1日  
至 平成7年3月31日

4月6日	むすび会 第一回役員会	4月6日	むすび会 第一回役員会
〃日	むすび会 監査会	〃日	むすび会 監査会
〃日	むすび会 第一回監事会	〃日	むすび会 第一回監事会
11日	神青協 創立45周年記念大会	9月2日	神青協 第二回監事会
12日	神青協 定例総会	5日	神青協 一部七県連絡協議会
28日	会員神社祭典奉仕(栃木県護国神社)	6日	むすび会 教化育成研修会反省会
5月10日	むすび会 定例総会	10日	栃木県神社氏子青年会ソフトボール大会
17日	神青協 一部七県連絡協議会会長会	9月8日	むすび会 各種委員会合同会議
21日	栃の実学園神棚祭	9日	会員神社祭典奉仕(白鷺神社)
25日	神青協 一部七県連絡協議会	12日	神青協 一部七県連絡協議会
6月10日	むすび会 植樹	14日	神社庁大麻頒布始祭
〃日	むすび会 教化委員会教化育成部門合同会議	15日	神宮初穂ひき参加
13日	神青協 一部七県連絡協議会関東地区総会	11月9日	会員神社祭典奉仕(大前神社)
28日	ビデオ「地鎮祭のすすめ方」撮影	17日	栃木県神社氏子青年会ゴルフコンペ
29日	むすび会 教化育成会議	21日	むすび会 親睦ゴルフコンペ
7月6日	ビデオ「地鎮祭のすすめ方」編集会議	12月7日	むすび会 神宮大麻頒布啓蒙活動
7月8日	一部七県神社庁親善野球大会	〃日	むすび会 昇進、昇級者祝賀会並びに忘年会
18日	東京都神道青年会創立45周年記念大会	13日	神青協 一部七県連絡協議会
22日	神青協 一部七県連絡協議会	1月24日	むすび会 第三回幹事会
30日	むすび会 教化育成会議	2月11日	建国記念パレード参加
8月5日	神青協 一部七県連絡協議会	3月13日	神青協 臨時総会
9日	むすび会 教化委員会教化育成部門合同会議	14日	神青協 一部七県連絡協議会
10日	むすび会 県外神社視察家族親睦旅行	3月2日	むすび会 監査会、第四回幹事会、臨時総会

# 大田原神社

禰宜 宇賀神 直人

御祭神 大己貴命

少彦名命

他六柱の神

境内地 一四、九三四坪

境内神社

護国神社・稲荷神社・

三峯神社・天満宮・神明宮

沿革

社伝によれば、昔前室村と称したところ那須郷に上中下温泉の三社が鎮座し、本神社はその下宮で大同二年の創建である。

人皇七六代近衛天皇の時、那須の野狐が里人に害を加えたので人々は東西に遁走し、人跡稀な荒野となった。ここに久寿二年春、那須野で狩りがあった時、三浦介義純、上総介弘経が詔勅を受けてこ

の地に来、先ず本社に祈誓したところ靈験があったので神殿を造営したと伝えられている。



その後、藩祖大俵康清の遠裔大田原備前守資清が天文年間大田原城築営に際し、下宮を崇敬して鎮守となり歴世相継いで崇敬したという。

後庶民参拝の便を図り社殿を城の東、青淵の里に遷座しその後城の要害のため、蛇尾川の流域を變えるに当たり温泉神社を改めて大田原神社と称し、明治維新に及び、以来「大神宮さん」の通称で親しまれ、庶民の身近な神社としての信仰が生まれた。



神社授與品  
記念品奉製

株式会社長谷川製作所

代表取締役 長谷川和夫

東京都北区堀船三丁目二〇番十三号

電話 東京03(3912) 6 1 6 1

FAX 03(3912) 3 1 3 1

カザリシ  
社寺専門店(御用達・鏝師)  
屋根銅板葺 飾金具工事

カザリカナグ  
有限会社  
鈴木鏝金具工芸社

〒321-14 栃木県日光市東和町57-1

TEL 0288(53) 1 1 2 1

FAX 0288(54) 3 2 6 3

# 安住神社

権禰宜 石川 安一



鎮座地 塩谷郡高根沢町上高根沢

一、三、三一三番地

年中行事

歳旦祭 一月元旦

節分祭 二月節分

祈年祭 二月十七日

天王祭 七月十七日

例大祭「神嘗祭」  
十月十七日

新嘗祭 十一月二十三日

天長祭 十二月二十三日

大祓 十二月三十一日

由緒

当社草創は、第六十代醍醐天皇の御宇、昌泰二年（西暦八九九年）九月吉辰、新井吉明が国家鎮護の為に、撰津住吉大社の大神を此の地に勧請したもので、今を去る約一千有余年前の事であります。

御祭神は、伊邪那岐命が御禊祓をした時にお生まれになられた、底筒男命・中筒男命・表筒男命の三柱の神を主神にお祀りし、配神

に第十四代中哀天皇の皇后、息長帯比売命（神宮皇后）をお祀りしております。

当社は古来官民の崇敬篤く、高根沢城主高根沢胤吉の奉納とされる神鏡一面を有します。

当社の御本殿は、県指定文化財に指定されており、棟板等から宝暦四年（西暦一七五四年）頃の建造と推定されます。建築様式は、一間社流れ造り厚板葺きで、全体に江戸時代後期の手法により、まとめられております。

維新前は正一位安住大明神と称しましたが、明治六年安住神社と改称して、郷社となりました。

尚当社には、神賑行事として、七月の夏祭に氏子青年会・子供会育成会の奉仕にて、神輿と山車の渡御が執り行われます。亦、二月節分祭には、町指定無形文化財の太々神楽が古式ゆかしく奉納されます。

創業90余年の御信用

おみくじ機  
おみくじ

製造販売

## （有）女子道社

〒745-03 山口県都濃郡鹿野町  
TEL 0834-68-2001  
FAX 0834-68-2958

全国各神社御用達

神符・守札・木札・ビニール守・錦守・集印帳  
交通安全守・御守袋・守護矢・ステッカー  
奉書紙・書道半紙・画仙紙・色紙・他

創業100年 真心で奉仕する

## 今村紙業株式会社

代表取締役 今村 力男

〒409-36 山梨県西八代都市川大門町6,237-11  
電話0552 (72) 0514(代)  
FAX0552 (72) 8818

# 平成六年度むすび会役員・幹事氏名

## 役員

議長	上野	武男	(宇)二荒山神社	権禰宜
監事	堀口	邦夫	栃木県神社庁	録事
監事	中山	光明	大宮温泉神社	禰宜
監事	長	和彦	樺崎八幡宮	宮司
庶務	星野	芳典	乃木神社	権禰宜
會計	小島	教敬	八幡宮	宮司
事務局長	加藤	直人	大前神社	宮司
副会長	金子	宗生	(田)二荒山神社	権禰宜
副会長	稲田	寿	栃木県護国神社	禰宜
会長	柳田	文司	(宇)二荒山神社	権禰宜

## 幹事

宇河支部	江部	幸男	平出雷電神社	禰宜
(宇)二荒山神社	大野	房典	大前神社	禰宜
芳賀支部	小幡	正之	岩戸別神社	宮司
塩谷支部	齊藤	正洋	那須温泉神社	禰宜
南那須支部	人見	文治	根裂神社	宮司
上都賀支部	永田	弘幸		禰宜
(田)二荒山神社	伊原	弘之		禰宜
古峯神社	阿部	修一	太平山神社	禰宜
下都賀支部	小林	靖	樺崎八幡宮	宮司
安佐・足利支部	長	和彦		宮司

# むすび会各種委員会委員

## 事業委員会

委員長	上野	武男	副委員長	堀口	邦夫
委員	斉藤	正洋	伊藤	文雄	樋山
	植竹	俊光	香取	正義	田辺
	栗原	千早	山杉	勝敏	星野
					善昭

## 教化研修委員会

委員長	江部	幸男	副委員長	菱沼	至広
委員	永田	弘幸	萩野	矢正美	佐藤
	篠原	正安	矢木	公久	阿部
	山田	和之	狐塚	泰久	渡辺
					幸雄

## 広報委員会

委員長	小林	靖	副委員長	小幡	正之
委員	伊原	弘之	伊藤	史展	野崎
	石川	安一	宇賀神	直人	篠田
	鷹箸	久志			薫

## 親睦渉外委員会

委員長	阿部	修一	副委員長	大野	房典
委員	人見	文治	宮本	利治	渡
	田原	経三	荒井	和宏	田中
	大河原	肇			健二
					教文

宮内庁・栃木県神社庁御用達  
 神祭具・御装束一式・結婚式場調度舗設

## 高田善次装束店

〒101 東京都千代田区神田須田町1-17  
 加藤ビル2階  
 電話・FAX 03 (3251) 1 8 6 9

宮内庁・神宮司庁・神社本庁 御用達

株式会社  井筒

本社 京都市下京区油小路通六条上る(〒600)  
 電話(075)341-3341(代) F A X (075)341-7902

東京店 東京都新宿区四谷三栄町11-6(〒160)  
 電話(03)3357-4800(代) F A X (03)3357-4805

福岡店 福岡市博多区東公園2-31(吉塚駅前)(〒812)  
 電話(092)651-9456(代) F A X (092)631-0835



# 初穂曳参加記

乃木神社 権禰宜 渡 建二

昭和二八年に執り行われた第五九回式年遷宮の時から開始された初穂曳き行事も本年で第二三回を重ね、伊勢神宮崇敬会、神宮奉仕会、神社本庁の共催により全国の神社関係者が一日神領民として参加を認められてから三回目、今ではすっかり神都伊勢の新しい伝統行事として定着したそうである。

本年初穂曳きに栃木県神社庁から派遣されたのは氏子青年会を代表して乃木神社青年さくら会会長山野邦康をはじめ副会長岡島幸夫、また青年神職むすび会から宇都宮二荒山神社萩野矢権禰宜と乃木神社渡権禰宜の計四名である。我々は奉仕当日の一日早朝栃木を出発し、昼前に集合場所の神宮会館へ到着、すぐに揃いの法被姿に更衣をし同会館に於いて結団式参加の後、バスで伊勢市内へ移動し午後一時三〇分から外宮への初穂曳きに奉仕した。例年の初穂曳きには奉曳車二台がでるそうだが、本年は奉曳車三台に総勢一千余名の

人々の奉仕である。今回一日神領民として参加した全国神社関係者奉仕団は秋田県の三一名をはじめとする一一四名。地元伊勢のポイスカウトはじめ皆の丹精込めた稲穂、また全国の神社関係者から寄せられた初穂が高々と積まれた奉曳車は伊勢市駅前を含めて市内繁華街二キロ弱の行程を三時間余りかけて外宮へ向けて進んだ。汗ばむほどの好天に恵まれた秋の日。ちょうど当地では一四日から伊勢大祭(いせおまつり)というお祭りが行われており、歩行者天国には露店が並び、特設舞台では市内各校のブラスバンド演奏が行われるなど町を挙げてのお祭りムードの中、三台の奉曳車は地元神領民の木遣を合図に動き出すと沿道の観衆から歓声が上がリ、車軸の擦れる「ギー——」という腹の底から揺るがす重厚な音があたりに響く。賑やかな沿道を過ぎ奉曳車が外宮の神域に入ると一転してしずしずと進み、無事に五丈殿に初

穂を奉献したときには秋の陽はすでに傾き始めていた。お祓いを受けた後、特別参拝をしてすっかり薄暗くなった参道を戻るとき足の疲れとは反対に、心はずがすがしく満足でいっぱいであった。

また、この初穂曳き参加の一日神領民は当日一五日夜外宮の神嘗祭を奉拝させていただける。夜十時過ぎ、浄園に包まれた外宮神楽殿近くに控えていると、松明のかがりを先導に祭主・大宮

司以下齋服を着けた神職が正殿へ進まれる。かがりのはじける音と、ざっ、ざっという足音だけが響きわたり、すぐにまた静寂に包まれた闇に戻る。神嘗祭が始まると奥深い正殿が松明の明かりにかすかに浮かび上がり、神楽の歌と箏の音、しゃく拍子の音が聞こえ、ひととき神代そのままの幽幻な世界に心身ともに浸っていた。

翌日解団式終了後、駅に向かうタクシーの中でドライバーから「一日神領民でお越しになったんですか。それはご苦労様で

した」と声をかけられた。話をしていくと、この初穂曳きに参加できるのは地元でもなかなか厳しい枠があるようだ。改めて今回初穂曳きに参加できた有り難さを感じた次第である。また来年からも本県から多くの関係者が参加されることを望むものである。



# 『第一回神社の森の集い』 に参加して

キャンプに行つて

今市市立大室小学校五年 増淵元

今年の夏休みが、もうすぐ終わる八月十九日、二十日の二日間、ぼくは日光にキャンプに行きました。ふたあらし神社にたくさんの子供が集まっています。二才の小さい子から、中学三年生まで集まっています。

ナイフで竹とんぼを作りました。水でっぽうと、あんどんも作りました。湖の近くのキャンプ場に移動してから、バーベキューをしました。焼きそばがおいしかったです。

夜になってキャンプファイヤーをしました。ゲームもしました。ジャンケンれっ車で一位と二位になって、うれしかったです。

あんどんと、花火がきれいかったです。

次の日の朝、湖でみそぎをしました。水の中に入ると、とても冷たくて、こおってしまいそうでした。朝ごはんがおそかったので、おなががすいて、とてもおいしかったです。

小田代ヶ原にハイキングに行きました。たきのそばを通ったり、道路のはじを歩いたりしました。お父さんが森の中で「ちたけ」と

いうきのこをとりました。ぼくもさがしたけれど、一つもとれませんでした。帰りは電車、バスに乗って帰りました。二日間、短かったけど、楽しいキャンプでした。

たのしいキャンプ

上野千裕

わたしは、十九日、二十日にじんじャのおじさんたちのかぞくといっしょに、日光の中せん寺こへキャンプに行きました。

まず、竹とんぼとあんどんと水でっぽうを作りました。竹とんぼは、竹をナイフでけずるんだけど、なかなかけずれませんでした。でも、にし山のおじいさんが、ナイフのつかいかたと、木のけずりかたを教えてくださいましたから、うまくけずれるようになりました。とぼしてみたたら、たかくとんだからうれしかったです。

よるごはんは、バーベキューをやりました。おうちでお肉をやくみたいに作るのかと思ったら、大きくなってばんで作ったから、びっくりしました。てっばんで作ったお肉は、うちのお肉よりおいしかったです。

たべたあとは、わたしが一ばんたのしみにしていた、キャンプフ

ファイヤーでした。だから、とってもうれしかったです。一ばんさいしょは火おこしをやりました。たいまつに火をつけて、キャンプファイヤーのところにすべらしめました。こんなやりかたでも火をつけられるなんてしらないから、びっくりしました。火をつけてからうたをうたって、ゲームをやりました。ゲームは「どっちがかつの」と「もりのりすさん」が中でも、とてもたのしかったです。

つぎの日は、あさはやくから、みずうみにはいって、みそぎをや

●神社仏閣御用達 製紙(奉書・糊入・半紙製造)・  
守護矢・掛軸・金・銀・木守・金欄交通安全木札  
・紙札・プラスチック・ビニール・守大麻・荒紙  
札・幣束

有限会社

井丸井紙店

代表取締役 有泉次郎

〒400-36 山梨県市川大門町763 TEL 05527 (2)0136 (2)0762

りました。ふんどしのおじさんたちを、わたしは、はじめてみました。へんなかつこうでみそぎをするんだなあと思いました。みずうみに入ったら、とてもつめたかったです。みずうみから出たら、ゆびがおったみたいになって、手をにぎれなくなってしまいました。とってもさむいみそぎでした。さいごに、しゅうりょうしょをもらっておわりになりました。とってもたのしいキャンプでした。またらい年も行きたいです。

さすが社家の子達

素業老人

先日、教化委員とむすび会員主催による青少年対策研修会に参加させて戴く機会を得、年甲斐もなく欣喜雀躍、日光二荒山神社中宮祠に参集。参加者が次々と集合し清々しい参集殿の大広間も五十数名の大集団で実に賑やかに、子供さん達はすっかり仲良しグループになってしまった。開会式で正式参拜行事があるのに「こんなに賑やかな子供達では拝殿内はどうなるのだろう」の老婆心も数分後の昇殿ですっかり吹き飛んでしまった。それも階段を昇った時より、私語はたった三つを教えたただ

け、「さすが」と驚いた。「子は親の後ろ姿を覗いて育つ」「孟母の三遷」の真相をこの目でこの耳で拝する事が出来ました。豪雨となりキャンプ場の移動を後廻しとし、約二時間の工作実習となり、親子共々自発的・想像的・喜々として取組む姿にこれ亦感心すると共に、準備に携わられた係の方々に多謝。

菖蒲ヶ浜キャンプ場においての食事準備では、奥様方がよく子供達をリードしつゝ率先奉仕されている後は、後日この子達の心となって実現される事だろうと心中喜び溢れる思いでした。夜のキャンプファイヤーも神道精神を盛り込み楽しい一時、リーダーの焦りと努力に感謝あるのみ。

早朝、禊には二歳の幼女をはじめ奥様方までが元氣一ぱい冷たい中禅寺湖沖に入って行く姿には神々しさを感じ、漣に映える姿には朝日と共に御光が射す感さえ覚ええました。小田代ヶ原散策でも子供さん方の元氣な事は大人達を上廻り、この老人も心の励を受け実に楽しい数時間でした。

この機会を与えて戴きました方々を始め、日光二荒山神社中宮祠職員の方々、亦社家のお子様・奥様方に感謝すると共に、最後に、「指導は相手の目の高さで」と、五十分の指導内容で一分間のみに用いる教材の指導、研究、準備に数時間をも費やした昔を思い出しつつ、紀行文の一節といたします。

二拝二拍子一拝

修了証

あなたは第三回神社の森の集いに参加し  
みんな和をもって協力し合っ  
たよってここに立派な成果をあげ修了した  
事を証します

平成六年八月二十日

栃木県神社庁教化委員会委員長 黒川 正邦



各種授与品、記念品奉製

金襴錦守、合成樹脂製守、紙札守  
木札、金属製守、反射ステッカー

●その他各種授与品御希望に奉製致します。

株式会社 三愛工芸

〒311-41 水戸市大塚町字谷津1761-16  
電話 水戸(0292) 51-2051(代)  
FAX 水戸(0292) 53-5844

県内各神社様、工事拝命先 (順不同)

日光東照宮	矢板木幡神社
日光二荒山神社	小川温泉八幡神社
宇都宮二荒山神社	足利權崎丸八幡神社
真岡大前神社	足利一社八幡神社
大田原那須神社	西那須野乃木神社
氏家今宮神社	

株式会社



小西美術工芸社

〒321-14 栃木県日光市山内2362 TEL日光(0288) 54-1198(代)  
〒108 東京都港区高輪1-5-22 TEL東京(03) 3447-1481(代)

# 「声」のむすび

## 神社の杜に

### 榊を植えよう

宇河支部支部長 阿久津喜生

記紀の天石屋戸（天石窟）の段に天香山の五百津真賢木（五百箇真坂樹）を根こじにこじて云々とあり、榊は神代の昔から神聖なる神の憑り代とし社殿に、祭りに、家庭の神棚に日常欠かず事無く使われ今日に及んで居る。最近模造品が横行して居る。真に寒心に堪えない。神社の杜に榊を植栽して神職相互提携すれば、北海道の果てまで使用可能ではないか。榊は真榊と姫榊とあり、真榊は神職に、姫榊は一般家庭に珍重されて居る。何れも挿木播種に依って繁殖可能、挿木は四月下旬の赤芽挿、九月中旬の青芽挿によって発根、冬期間霜害を防げば翌春圃場移植可能、日光を七五％遮蔽すれば葉色良く、純粹播種が出来る。実生は十一月中に紫に熟れた実を潰し、種子を水洗いして腐葉土に播種、樹下に放置すれば翌春地温二〇〜二三℃位で一斉に発芽、生育良好なものを六月下旬から七月中に腐葉土の

ポットに移し、樹下に放置すれば自然に生育、播種三〜四年で圃場に移植、六年位で切枝可能となる。但し実生はメンデルの遺伝の法則通りに発生、地温三〇℃位で「カビ」に侵食され絶滅することがあるから過保護は禁物。自然の木であるので自然に扱ふことがコッ。実生は寒さに強く優生のもののみ生育させるように心掛ければ非常に良い。挿木は直枝を挿すことがコッ。枝を挿せばあくまで枝であるので直枝が出る迄には六年位かかる、要注意。真榊は砂質壤土が良く、姫榊は土壌を選ばない。神社の杜に下木として繁殖させ、何時も瑞々しい榊を使いたい。

## 今宮神社社殿

### 栃木県文化財

#### 指定について

今宮神社 宮司 下妻良夫

去る平成四年二月四日、当社本殿・宮殿・幣殿・拜殿が栃木県文化財の指定を受けた。このことは、古い社殿を有する我々同職の者にとって大変意義深いことと思うので所見を述べさせていただきます。

当社が現在地に鎮座したのは天文三年というから、凡そ四六〇年前のことになる。この長い歴史の中で幾度かの改修が繰り返され、現在の社殿が護持されてきた。私に着任した当時、正直のところ神社境内の整備は滞っていた。一挙にすべてを成すことはできないのは当然である。宮司に就任後は年次予算の中で何かしらの営繕事業を行うよう心掛け、毎年二百万から三百万の予算を費やしてきた。そんな事からずい分整備されてきた。が、あまり費用のかかる事はできない。自分の代に社殿の屋根葺替えが必須となる。莫大な費用のかかることは目に見えている。恐らく億という経費を覚悟しなければなるまい。が、文化財の指定を受ければ、かなりの補助金が交付される。そんなことから社内に文化財調査委員会を設け本殿・拜殿等の屋根裏を詳しく調査した。幸いにも本殿梁に墨書を見付けることができた。「延 九年四月二十七日」と記されていた。これを以て、市教育委員会を通じ県教育委員会に書類申請をした。江戸初期の建築様式を有しているという事由で時を待たずして文化財の指定を受ける事ができたのである。

現在のところ屋根葺替えの具体的計画は成されていないが、将来のことを思う時、まずは一安心である。文化財の指定により、本年は防火設備（総工費一、七〇〇万）を設置する事ができた。八割の補助金を得る事ができたのである。文化財の効用は素晴らしいと思っ

### 社窓雑感

大神神社宮司 荒川眞澄

ここ数年、毎年昆虫や鳥が減少している。草むらにすだく虫の声は今年は特に少なく、コオロギだけが活躍している。秋の夜長にスズムシ、マツムシ、カナタキ等の声がるさい程であった頃が懐かしい。セミも昨年頃から盲目の幼虫が増えている。今年は森を二分してヒグラシが美しいコーラスを聞かせたのはたった二日しかなく、刑務所付近の林からのコーラスも一回聞いただけ、ツクツクボウシだけが例年になく賑やかだった。

雑草の種類も激減している。野兎も全然姿を見せず、野鳥も激減

しミミズクも姿を消し、アカゲラの枯木を突く音も聞かれない。神社の森（約一万坪）の杉も枯れ始めたし、この再生は非常に難しいと思う。人間は文化の進むに従って自然破壊を平然と行なっている。縄文の頃に復することは出来ない相談だろうか。人間が便利を追及する事は自然破壊、そして自滅に連なると思う。神道では人も動物も非生物も全て神の身体より生まれ出しものとしており、森羅万象全て神として尊び、助け合って生きて来ている。私はいろいろな祭典終了時には必ず五〜六分、或は十分ぐらいその祭の意義とか「みそぎ」「祓い」の意義とかをお話する事にしており、特に自然と人間のつながりを中心に自然保護にも話をふれるよう心掛けています。神社の森の中に住んでいると、いわゆる「世紀末」という実感が身につまされるが、皆様は如何思われますか。

### 神社に思う

日光二荒山神社八乙女 石川亜希子

私が日光二荒山神社の職員とな

って、もうすぐ三年目に入ろうとしています。神社の存在というのは、以前の私には全然考えたこともなかったものでした。それが今になると、一年間の祭典などを通して神社の役割や存在感が重く感じられ、大変興味深いものになりました。

私が今までの中で、一番自分プラスになったことだと思うのは、「男体山登拝大祭」で男体山に初めて登ったことです。女子職員三人で登ったのですが、六合目辺りで一人が体調を崩してしまい、三人一緒に下山しようと決意しました。しかし、私にはあきらめきれず、わがままを言って一人で登らせてもらいました。二人との別れはとても辛く、これから先の不安もあってうっすらと涙が浮かんだのを覚えています。それから自分との戦いでした。午後七時から登り始めたので、すでに辺りは暗闇となり、道にも迷いました。辛さに耐えられず何度も足を止め、断念して引き返そうとも思いませんでした。そんな思いをしながらもなんとか頂上にたどりつき、今までに味わったことのない感動を覚えしました。この素晴らしい経験から私には、寛大な心を持つことができ、

御守・御札奉製

## 東洋工芸

〒321

字都宮市石井町2551-6

TEL 0286 (62) 0043



神社本庁 御用達  
各神社

- 交通安全御守護
- 御参拝記念品
- 開運招福鈴
- 御社頭授与品

立案調製致します。

◆技術と信用◆

### 鈴木徽章工芸株式会社

〒113 東京都文京区弥生2-12-1

TEL. 03-3814-1811 FAX. 03-3818-8332

仕事への意欲も増しました。私がこのようになったのも、神社の存在があったからだと思います。

神社は、何故か人の心を豊かにし、安らぎを与えてくれる、まさに日本の心だと思えます。

### 高根沢昭樹

水戸黄門は、一時間のドラマで事件が解決する。歌手は、二分半から三分少しの歌声で感情と心、そして人に感動のドラマを伝える。神職は神社への参進より、氏子崇敬者に神の声を伝えるべく神社に上り祭りを斉行する、正しくそこにドラマがある。私が助動に出かけて直会の席を出た時に参拝者の夫婦が声をかけて来た。年に四、五回ほど旅行に出かけ、自然との会話に触れることが楽しみで旅行をしているとの事です。現在は息子夫婦に会社を任せ隠居の身とのことで、人と人との触れ合いなどあまりなく、旅行に出かけ祭りをみる機会があり、祭りの様子を見ていると静かさの中に音楽がなり、神官の手で食べ物を選ぶ姿に今まさしく神を迎える準備に、言葉では表現できない何か体が伝わって

てきます。

私も神職につく以前に、祭りをしている時御夫婦が話された気持ちにさせられたことがあります。無言の如く見ているのは神職の動作、終わった時の溜め息一つにより自分に返り何かを考え求めつつ仕事に精を出す、まさに神職以前の考である。今、逆の立場になり複雑な心境で作法所役の順番を考えながらの祭り以前の感情はなく祭りを終了しての氏子の皆さんとの直会、人と人との触れ合い、神が人間に、そして神職に心の広さ大きさを学ぶ神社と考え、神職の枠の中に心を置かず、参拝者、氏子の皆さんと会話をしてみることに神さま以外のもう一つの触れ合いの場と考えています。

## 「祭り」の意義

中村八幡宮 官司 中里統彦

仏教やキリスト教などは創唱者の教えを説教によって人々の心を平和に導きます。高僧とか聖者などと言われる人は最高に説教上手

な人たちです。

しかし日本人はもともとテレやですから説教することなど苦手です。仏教やキリスト教には説教用の虎の巻もあり、訓練もしているようです。神社にはそんなものはありません。訓練もありません。従って神主で説教名人などという人のこと聞いたことありません。神葬祭に行つて終わって宮司さま一言などと急に言われシドロモドロした経験があります。だいたい立板に水とは行かないのが神主の常でしょう。第一、經典だの聖書などといったものがないのですから、やりようがありません。

では説教できる宗教人が偉くてできない宗教人はダメかというところ、そんなものではありません。教典のある宗教と無い宗教とは教典のある方が立派な宗教かというところ、そんなこと関係ありません。人はよく、生きてるうちが華、死んだらおしまいなどと言いますが、これが本音です。人間死んだらただの物体として扱われてしまします。トラックに死体何体乗せようが、警察に捕まることはありません。そうです。生きてる人こそ宗教は必要なのです。明日へ

の希望、日頃の悩みを解決するところこそ宗教の真骨頂です。死んだ人に立派な經典を何十ぺん聞かせてもムダというものは、それなら生きてるうちに聞かせて欲しかったという死人もいるかも知れません。では神社の教典とは何か、神社の存在意義とやらを聞かせてもらおうじゃないのと言う人も出てくるでしょう。

神社の存在意義は「祭り」にこそあると古より言われています。祭りとはにぎやかな祭禮から内輪

### 営業品目

木札・紙札・熊手・絵馬・守護矢  
金襴錦守・縁起物入おみくじ・各種ステッカー

## おまわりの奉製

株式会社 阿部

本社・工場 豊349-13 栃木県下都賀郡藤岡町藤岡213-7  
TEL (0282)62-1010 (代表)  
FAX (0282)62-2061

の祭りまでいっぱいあります。全国各地で夏祭りや秋祭りでその地方独特の祭りに熱狂している人々や観客がテレビで見られます。又静かに一人で神様にご馳走をお供えして感謝や豊穰を祈る人々も見られます。

まさに「祭り」こそ神社の教典であります。「祭り」は日本民族の魂を揺さぶる高天原以来の伝統の民俗文化であり、寄り処であります。その発進地が神社であります。人々の心を安穩に導く目に見えない教典の源こそ神社そのものなのだと考えましょう。

先頃むすび会が「神棚のまつり方」や「地鎮祭のすべて」などのビデオを企画制作して世に出しました。これは大変意義のあることです。これだけの快挙をやった青年神職会を知りません。まさに「祭り」への人々の参加を促すという立派な教化です。

民俗文化の伝統を守り育て、発展させる余地はまだあります。人間の一生にかかわる神社の祭りを発掘し、教化して明日への活力となる楽しい祭りを演出し、一人でも多くの人たちに生きてる喜びを味あわせてあげることこそ神社の役割であると言えましょう。

## 七五三のお祭りを 奉仕して

羽黒山神社 手塚里次

あちこちで秋祭りの賑わいが伝わり、同時に七五三のお祝いの季節でもあり、我が子の健やかな成長を願う親子共々に思い思いの盛装で参拝する姿は、正に平和な日本の姿でもあるように思われます。私共の神社も七五三のお祭りを奉仕するようになり、年々少しずつではあるがその数を増し、奉仕にも心が入る此の頃ですが、お昼も少し過ぎたある日親子五人で参拝に来られ、父親が遠慮がちに七五三の御祈禱をしてくれませんか云々って来られたのです。その親子の身支度を見、一瞬耳を疑いました。が、どうぞとすぐ拝殿に通し御奉仕を致しましたが、その時程御奉仕に力が入り、大神様にその親子の成長をお願いした事はありませんでした。我が子を七五三のお祝いが出来るまで育んで来られた親の心、そしてこれからの大成を願う親の心は、晴れ着を競う親も、そこにすら行けない親の心も皆同

じであろう。私はあの親子の七五三を奉仕して、改めて地方の神社の有り方を考えさせられると同時に、産土の大神様に御奉仕の出来る事を誇りに思う毎日です。

## これからの神社神道

伊藤史展

今年で植樹を奉仕して三年目を迎えた。他の神職さん達の様々なお宮を拝見させて頂いたが、それぞれ社殿の造りももちろんのこと、社頭装飾等が異なり大変勉強になった。又、神社神道維持の為、色々な教化活動を行っている。最近マスコミで統一教会を始め、オウム真理教、幸福の科学のように訳の分からない宗教の多い中、如何にして神社神道を存続させるべきか、初詣、七五三等は昔から根付いているように思われるが、大変難しい事だろう。現代の若者はこの世の中に育って来ている訳だから果たして、これから数十年後神社体制はどのようになっていくのか。と不安が募るにも拘わらず最近自分はいったい何の努力をしているのだろうか。養成所を卒業し入

社した頃は夢や希望があり、どんな事にも挑戦したが、今日の自分はマニュアルな毎日を送り、保守的になっていくのではないだろうか。「初心忘れるべからず」この言葉の意味の深さを今になってしみじみと考えさせられる。如何にして存続させていくか、これが私にとって重要な課題になるが、氏子、崇敬者を待っているのではなく、先ず自分の信念を変えていくことから始めなくては？

## 最近感じること

平出神社禰宜 江部幸男

日々社務において感じるのは、世の中の流れの変化という事です。世の中が好景気であった頃は、参詣者の中には、世の中に恐い物などない、何でも思い通りになるという方もいらっしゃったり、あるいは指導者の存在に率いられた宗教サークルの物が存在し、あちこちに参詣し、個々にもグループにも、いろいろと悩みがあったのであるが、しかし、それらは世の中の不景気、不透明さが増すにつれ、いくつかに分裂し、そして

消えていきました。それらは余裕のある時期、人達の産物であったようです。

私は、ある種の武道に関わっているが、この世界でもある時期、アメリカ等の科学的トレーニング等とが最良と考えられる部分がありました。最近では、本来日本人の中に存在した高度な身体論、精神論を再認識し直し、形式論でない、高度な質的展開あるいは認識を求める動きが、まだ少数であるが徐々に広がってきているようです。世の流れも、宗教の世界でも同じような流れがあるのでないでしょうか。

現在、世の中の不透明さが増し、人々が不安感等を増し、それにつれ神道等に関する関心も高まり、その中でも一部の人の関心の高さは驚くべき物があります。その中には、ある種今まで避けてきた事物にも及んでいます。このような状況に対しどのように対応したらよいのであろうかと、非常に曖昧と言われるかもしれませんが、思うのであります。

## 社頭奉仕の心構え

日光三荒山神社 多田民男

私の奉仕神社は、全国有数の観光地に鎮座致し、参拝者は大半観光者であり、拝観即ち見学が目的であります。しかも信仰心は薄く少しくても多くの見学をしたいたいと思ひ、祈願目的の参拝者とは大変な相違点があります。

私の勤務は社頭であり、日々の祈禱は勿論の事、一般並びに団体参拝者の対応であります。私の心構えとしては笑顔での対応、次に相手が喜ぶ心穏やかな優しさを心に秘めた対応であります。総じて参拝者へのソフト面、いわゆる真心の対応であり、安心して参拝を出来るサービスであります。しかし乍ら言うは安し行いがたしであり、行動に移し実践するは難しいことでもあります。それも対応次第で観光客が良き崇敬者に成り得る人が多くなれば、いよいよ三荒山大神様の御神威高く、自らも神職として誇りを持ち、最大の喜びを感じる事が出来るよう努力する事であります。

当社は、正しき御由緒と老杉に囲まれた御神域を有し、人々は心のやすらぎと共に参拝をなされます。加えて私の奉仕が御神徳宣揚

の、ソフト面の役割を出来る心構えを持つ事であります。以上責務の重大さを心得、日々神明奉仕に努力を重ねる所存でございます。

明治天皇御製  
大空に聳えて見ゆる

高嶺にも

のぼればのぼる道はありけり  
私の好きな御製であります。

## 人間と自然

安住神社補宜 斎藤隆裕

私たち人類は、自分たちの生活をより楽しく、より快適にする為に多くのものを犠牲にしてきています。それが引き金になり深刻な環境問題等を起こして、大きなダメージが生じているのが特に昨今クローズアップされている。

さまざまな生物が絶滅していき生態系にも変化が生じ、悲惨な姿が写し出されている。例えば、海洋汚染は、南国のパラダイス沖縄のサンゴ礁が痛手を受けていると言ふ。その周辺をカラフルな魚たちが楽しく泳いでいる光景は年々減少して、それを食い止めるのが必死である。また季節と場所によ

っては様々な表情を見せてくれる自然、その自然が開発によって逃げ場を失った動植物もたくさん絶滅の危機に瀕しているのが現状であり、相当な数に達していると言ふ。

環境専門家も、乱開発を失し特に緑を増やし、人類と自然、人間と動植物がうまく調和がとれる地球をと呼びかけている。緑は神々が鎮まるのにふさわしく、我々神道人にとっても無視する事のできない色である事は言うまでもない。そのような乱開発により、その土地に生まれ育ち、生きてきた人々とさまざまな形で関わり合い、私たちに語りかけてきていた風景も多少なりとも変化を呈している。この豊かな国、日本の自然をもっと多くの人々に再認識してもらい目まぐるしく変化する現代社会にも、かつて我々の祖先が心の拠り所として守り続けてきた鎮守の社を子々孫々に受け継いでもらいたいと思ふのは、私ばかりではなく神道人が率先して日本を愛し、自然を育み、真剣に取り組む必要性が今、問われる時であると思ふ。



# 新入会員紹介



荒井和宏

住 所：宇都宮市岩曾町

一、一五二二二五

生年月日：S 43・6・20

奉務先：宇都宮二荒山神社

趣味・特技：車、バイク

座右の銘：和以平為

好きな女性のタイプ：鈴木保奈美

平成三年に大学を卒業し、三年間東京杉並の井草八幡宮に奉職しておりましたが、六年四月より宇都宮二荒山神社に御奉仕させて戴いております。井草八幡宮では実習生として四年間御奉仕しながら、大学に通わせて戴いております。二荒山神社奉職と同時にむすび会に入会させていただきましたが、むすび会と斯道の為に頑張っておくつもりですが、まだまだ未熟者ですので御指導、御鞭撻の程よろしくお願い致します。



小島宣紀

住 所：河内郡南河内町薬師寺

一、五〇五

生年月日：S 40・10・13

奉務先：薬師寺八幡宮

趣味・特技：ゴルフ

座右の銘：子供怒るな自分が来た道 お年寄り笑うな自分が行く道

好きな女性のタイプ：日本のおしとやかな女性

神職に就いたのが何分遅かったものですから、今は只一生懸命勉強して頑張っておくつもりです。何卒御指導下さいませうよろしく申し上げます。



鷹箸久志

住 所：今市市平ヶ崎一六四

生年月日：S 42・12・30

奉務先：古峯神社

趣味・特技：雅楽  
座右の銘：謙虚な心  
好きな女性のタイプ：料理の上手な人

むすび会に入ったのをきっかけに、皆様の御指導、御鞭撻をいただきまして、神職としてますます頑張っていきたいと思っております。



大河原肇

住 所：鹿沼市草久三、〇二七

生年月日：S 42・6・24

奉務先：古峯神社

古峯神社に奉職して今年で五年目を迎えました。その間、日々奉仕に励みながらも試行錯誤の繰り返しの日です。私よりも二回りも三回りも齢を重ねている参拝者が御神前を参拝した後、私共にも手を合わせておじぎをして帰っていく姿を見る度、日々の神明奉仕はもとより、自分自身も精進していかなければとつくづく考えさせられます。これから先、諸先輩方の御指導を賜り、立派な神職に

なるよう努力していく所存でございますのでよろしくお願い致します。

# 定年退会者

柳田文司

住 所：宇都宮市東戸祭

一、二二二七

生年月日：S 29・8・19

奉務先：宇都宮二荒山神社

趣味・特技：ゴルフ

座右の銘：「学習者君子也」

十八年間本当に有難うございました。むすび会の今後の活躍を祈ります。

樋山洋平

住 所：那須郡烏山町向田

二、五八九

生年月日：S 29・8・29

奉務先：熊野神社

萩野矢正美

住 所：下都賀郡石橋町大字石

橋一九五

生年月日：S 29・5・24

奉務先：宇都宮二荒山神社

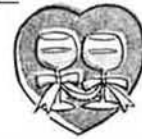
趣味・特技：映画鑑賞  
座右の銘：努力  
好きな女性のタイプ：誠実な女性ひと

私は三年前、宇都宮二荒山神社に奉職し、以後栃木県青年神職むすび会の会員の一人に加えていただき、今日に至りました。若い神職の集まりであるむすび会では、私が入会した時には年齢的には一番上の方でしたが、神職としては新人でありました。いろいろなむすび会の会合に出席し、他の神社の神職たちと交歓をし、顔と名前とが一致する頃には私も神職の一人として神社界に馴れてきたのかなあと感じるようになりました。特に植樹祭で県内の会員の神社に行き、多くの会員と共に植樹をしていく上で、その思いは大きくなりました。昨年十月には、神宮での「初穂曳き」に参加させていただきました。地元の人々と共に伊勢市内を練り歩き、貴重な汗をかかせていただきました。

た。これからもより一層努力していきたいと思えます。

最後に、栃木県青年神職むすび会の益々のご発展と会員の皆さま方のご健闘をお祈り申し上げます。

### 祝ご結婚



氏 名：田原 経三

奉務先：日光二荒山神社

挙式日付：H 6・10・8

場所：二荒山神社本社

披露宴：ホテル ニューイタヤ

新婦氏名：文実（あやみ）

希望・抱負：特になし

奥さんのコメント：お酒を飲む機会が多い仕事なので、

食生活に気を遣ってあげたいですね。

日光の山の中で明るい家庭を築きます。

氏 名：伊藤 史展

奉務先：栃木県護国神社

挙式日付：H 7・3・12

場所：護国会館

新婦氏名：尚代

希望・抱負：一生ついて行きます。

奥さんのコメント：一生ついてこい。

### 祝ご誕生



氏 名：小幡 正之

奉務先：大前神社

第一子氏名：仁（じん）

生年月日：H 6・9・16

親からの希望：元気で男まゑに育

ってほしい。

氏 名：篠田 薫

奉務先：古峯神社

### 編集後記

関係各位のご理解のもとに、今年も会報むすび第十九号を、どうか発刊することができました。とを、深くお礼申し上げます。

今年度は昨年にもまして悲惨な事件が世の中を駆け巡りました。

各地でおきました大地震、中でも戦後最大の阪神淡路大震災は、大都市災害の恐しさ、もろさを暴露

し、想像を絶する惨状となり、多くの人々の心に強烈なショックを

あたえました。その惨劇から癒えぬまに起きたオウム真理教の強悪

極まりない事件など、世界の目が日本の安全を疑いました。

それはまさしく日本の危機管理体制のまずさや、本来の心を忘れ

第一子氏名：元暉（もとあき）  
生年月日：H 6・9・8  
親からの希望：心身共に健康に育  
ってほしい。

氏 名：宇賀神直人

奉務先：大田原神社

第一子氏名：泰典

生年月日：H 6・8・27

親からの希望：明るく素直な子に  
育ってほしい。

た教育などが指摘されました。自然を尊ぶ神社神道も無関係ではないられないのです。

私たちが青年神職もこれを機に原点に戻り、失われつつある日本の心、古より育んできた今中の心を守り導いていきます。

最後に今回の大地震ならば不幸にも事件に巻き込まれた人々の御霊に哀悼の念を捧げます。

### 広報委員会

小林 靖 小幡 正之

伊原 弘之 伊藤 史展

野崎 正之 石川 安一

宇賀神直人 篠田 薫

鷹箸 久志